

第4回勉強会を開催しました

平成29年2月15日（水）に、公益財団法人大阪府都市整備推進センターから講師をお招きし、「組合設立までの流れと取組内容について」というテーマで第4回勉強会を開催しました。27名の参加があり、地権者協議会の発足から組合設立までの、事業協力者と地権者の役割分担等、詳しく解説をして頂きました。



●事務局からの報告

勉強会に入る前に、事務局より報告事項として、大阪モノレール彩都線の件と、第1回エリア部会以降の彩都東部地区の土地利用計画等の検討状況の報告がありました。概要は次のとおりです。

○大阪モノレール彩都線について

- ・1月27日に開催された大阪府戦略本部会議において、彩都西駅から彩都東部地区まで（約2.2km）の区間については、住宅系から物流、工場用地といった産業系中心の街づくりに変更することやモノレール延伸の建設事業費、採算の見通しなどを踏まえて延伸を断念するという方針が決定され、今後はバスの運行等による公共交通の充実を関係機関と協議・検討・調整をしていくこととなりました。

○彩都東部地区の土地利用計画等の検討状況について

- ・昨年12月に開催した第1回エリア部会での皆様の意見や事業化検討アドバイザーからの助言等も踏まえ、事務局の方で土地利用計画等の修正、検討を行っているところでありますが、第1回エリア部会で提示した3エリアでも事業区域としてはか

なり大きく、事業がなかなか進みにくいということから、さらに細分化して6エリア（1エリアあたり40～50ha程度）に分けた計画案で検討を進めております。また、並行して道路、上水道、下水道などの計画も関係機関と協議・調整を行う必要がありますので、もう少し時間を頂きたいと思っております。

○事務局からの報告に対しての主な意見

- ・モノレール延伸の断念については、非常にショックを受けている。先行き不安になる。もっと開発費が増えるのではないか。
- ・道路整備を早急に進めるべき。モノレールが計画されていた道路（茨木箕面丘陵線）について、大阪府はどのように検討しているのか。
- ・茨木市から断念しないよう、もっと言って欲しかった。交通事情として問題化しておかないといけない。次回の意向調査の中で、モノレールについての地権者の考えを把握すべき。
- ・道路を整備してバスを運行させるより、鉄道が入って来る方が地域の活性化につながると思う。茨木市も大阪府ももっとがんばってもらいたい。

※ご意見の中で、道路（茨木箕面丘陵線）については中部地区から引き続き彩都東部地区の中も延伸して整備していくことは大阪府も表明していること、また次回の意向調査の内容については、事前に相談することとしました。

なお、これらのご意見については、事務局から大阪府に報告することとしました。

●勉強会当日のアンケート結果<別紙1参照>

勉強会の参加者には当日説明したテーマについて、無記名でアンケートをお願いしました。

今回も「(ほぼ)理解できた」と「どちらかと言えば理解できた」と回答された方が8割～9割を占めました。記述式のご意見、ご要望等につきましては、必要に応じて今後の取り組み活動に活用したいと思っております。詳しくは同封しました調査結果をご参照ください。

●今後の予定について、

現在、事務局からの報告にありましたように、第2回エリア部会の早期開催に向け、事務局において関係機関等と協議・調整を鋭意進めているところです。日程が決まり次第、ご案内させていただきますので、ご参加ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

■発行：彩都東部地区地権者協議会

■事務局：(窓口) 茨木市都市整備部北部整備推進課 Tel:072-620-1609